

教育者としての「使命感」・「人間愛」・「創造力」を有する教員の養成を目指す

2022

春

No.47

JUEN

【ジュエン】

Joetsu University of Education

国立大学法人
上越教育大学
Joetsu University of Education

学園だより

特集

教職大学院の学校実習

学校支援プロジェクト

上越教育大学大学院 令和4年度大改革
学び続ける新大学院がはじまります！

教員就職率 全国トップクラス!

学校教育学部 87.9% 採用数 123名 全国1位

教職大学院 96.9% 採用数 63名 (現職教員を除く)

※令和3年3月卒業生・修了者の就職状況



上 教大 サイコー!!

繋ぐ～未来の自分に～

私の成長、私の課題

学部3年の山口令椰です。私の夢は中学校の国語科の教員になることです。私は学校教育実践コースで、学級経営や国語科における授業構想等に関して研究しています。初等教育実習では、大学で培ってきた自分の国語科の専門性の高まりを感じることができました。文学教材の分析を綿密に行い、考えた授業構想は実習先の先生に褒めていただくことができました。その一つに国語の授業で行った「本の帯づくり」があります。この活動は、授業で扱った文学作品での学びを子どもたちにとって身近な本の帯に表現するというものです。しかし、子どもと教材を結び付ける困難も感じました。教材分析して考えた授業をどのように子どもの実態に合わせて行うか、どうすれば子どもに文学を読む楽しさを感じてもらえるかを日々思考中です。

かけがえのない経験

私は「学びのひろば」で活動しています。「学びのひろば」は、学生が主体で、企画・準備・運営を行う自主活動です。小学生を大学に招き、レクリエーション等の活動を行っています。私は事務局という立場で学生や先生方、地域や保護者の方と連携を取り、「学びのひろば」全体を運営しています。事務局9人でどうしたら子どもが学ぶ楽しさを感じたり、新しい発見をしたりする場を創れるかについて活発な意見交換をしています。活動日に子どもたちの笑顔や新たな発見をして驚く様子を見ると事務局での仕事に楽しさややりがいを感じます。このような経験の中で子どもとの関わりも学ぶことができました。そのため「学びのひろば」は私にとってかけがえのない経験となっています。

これからの私

私は日々の学びから成長や課題を感じ、かけがえのない経験ができるこの大学を選んで良かったと感じています。そして子どもとの関わりの中で子どもの主体性を育てることができるような教員として教壇に立てるように奮励努力します。

※学びのひろば

「学びのひろば」は、「学生が子どもたちとふれあい、子どもの気持ちや行動を理解し、教員としての実践的指導力の基礎を身に付ける」ことを目的に実施している事業です。活動の企画・運営は、すべて学生が中心となっており、所属する9つのクラブが「子どもたちの笑顔」のため徹底的な議論を重ね、年6回程度の活動日に、近隣の小学校に通う子どもたちとレクリエーションや野外活動、工作、運動、2泊3日の宿泊活動などを実施しています。



学部3年
学校教育実践コース
(教科教育実践)
山口 令椰 さん



研究室

先生は子どもにとって

社会に通じる「窓」

よむこころ

「聞こえにくさ」は外から
わかりにくい障害

私は、聴覚情報処理障害という、「聞くことに困難をもつ」人の認知処理や支援方法、聞こえにくさを評価する検査の開発などの研究を行っています。

聞くことに困難があると、雑音の中で目の前にいる人の声を聞き分けたり、どこから何の音が聞こえたかを判断したり、聞きなれない単語を覚えることも難しくなります。聞くことは言葉の発達につながっていますし、注意や記憶などの処理とも関連しています。そのため、聞こえにくさがあると勉強や人とのコミュニケーションにも影響が現れて、心理的な問題を抱えるようになるケースが多く見られます。実は、聞くことに苦手な人と、発達障害の人が抱えている困難はとても似ているのです。

聞こえにくさは、外からわかりにくく理解されにくい障害だと言われています。よく周りを見ていると、小・中学校にも聞こえに困難さを持つ子どもは隠れています。研究を通して、そういう子どもたちが自信をもって社会に羽ばたけるように繋ぎたいと思っています。

特別支援教育に関わるきっかけ

私が小学1年生のとき、重度の自閉症の子が同じクラスにいました。クラス担任の先生は、子どもたちの得意なことを見つけてのがとても上手で、自閉症の子がとても精緻な絵を描くことを教えてくれました。また、その先生が平等に接したので、子どもたちも彼を特別扱いせず、「そっとう個性を持った子なんだ」と自然に受け入れることができました。そして私は、子どもながらに「この先生は信頼している大人なんだ」と感じ、そのことが機縁となつて、特別支援教育の研究することにつながったと思います。

障害を持つ子どもとマイノリティと言われる方たちに対して、先生がどのような見方や考え方をしているのか、子どもたちは敏感に感じています。そして、教師という「窓」を通して、子どもは社会というものを知っています。皆さんも色々な視点から物事を捉えらるる教師になつて頂きたいと思っています。



小林 優子 (こばやし ゆづこ) 臨床・健康教育学系 准教授

専門は特別支援教育、障害児心理学、筑波大学人間学類心理学専攻卒業、筑波大学博士課程人間総合科学
研究科心身障害学専攻修了、博士(心身障害学)。2010年8月に本学に着任。東京都目黒区出身。趣味はドライブ、トレッキング。

上越教育大学大学院 令和4年度大改革
学び続ける新大学院がはじまります!

教職大学院の学校実習 学校支援プロジェクト



上越教育大学大学院は、令和4年度から教職大学院を主体とした新組織、カリキュラムへと移行します。

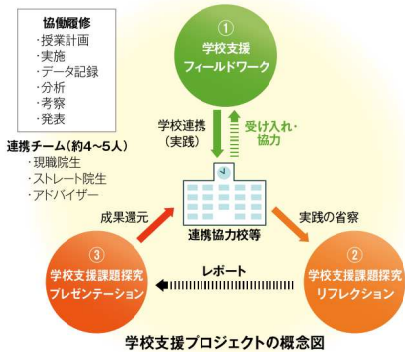
教職大学院での学びは「学校実習」を中核とし、教育実践力を育成するため修了要件45単位以上のうち10単位以上の「学校実習」が課せられていることが特徴です。

そもそも教職大学院とは？ 学校実習ってどんなことをするのか？ 教職大学院の制度と、上越教育大学独自の学校実習である「学校支援プロジェクト」の仕組みについて特集します。

2 「学校支援プロジェクト」って？

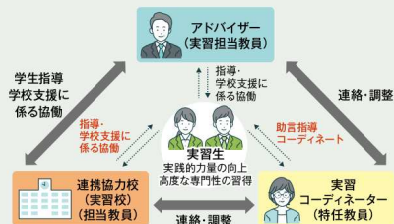
本学教職大学院の学校実習は、学校現場が抱える課題や取り組んでいる主題等の解決を支援する「学校支援プロジェクト」として実施しています。

①「学校支援フィールドワーク」では、実際に学校現場に入って支援を行い、②「学校支援課題探究リフレクション」では、フィールドワークの内容を省察・共有し、改善案の検討を行います。③「学校支援課題探究プレゼンテーション」では、自分たちの取組成果を学校への提案としてまとめ、連携協力校に還元します。



実習生の指導体制

教職大学院では、実習担当教員(専任教員)をアドバイザーと言います。学校実習は、それぞれの学生が選んだアドバイザーの指導のもとに、主に同じアドバイザーが指導する学生でチームを組み、そのチーム単位で実施します。その活動をコーディネーターの特任教員が支えています。



1 そもそも教職大学院とは？

教職大学院は、法曹(法科大学院)、会計、ビジネス、MOTなど様々な分野で開設された専門職大学院の一つで、実践的指導能力を備えた教員を養成することを目的に平成20年度にスタートしました。

専門職大学院の特徴としては、理論と実務を架橋した教育を行うことを基本としつつ、

- ① 少人数教育、双方向的・多方向的な授業、事例研究、現地調査などの実践的な教育方法をとること
- ② 研究指導や論文審査は必須としないこと
- ③ 実務家教員を一定割合置くこと

教職大学院では、2年以上在学し、45単位以上修得することが修了要件とされており、うち10単位以上は学校における実習が義務化されていることが大きな特徴です。また、必要専任教員数の4割以上を高度な実務能力を備えた「実務家教員」とすることが義務付けられています。

主な特徴は？

- 連携協力校**
実践的指導力育成のため、市中の学校から「連携協力校」の設定が義務付けられている。
- 教育課程・方法**
●各教職大学院に共通するカリキュラムの枠組が制度上明確化されている。(共通科目(5領域)・学校における実習など)
●事例研究、授業観察・分析、フィールドワーク等を積極的に導入した教育方法により、理論と実践の融合を図る教育を行う。
- 教員組織**
●専門分野に関し高度の指導能力のある専任教員を一定程度配置
●必要専任教員数の4割以上は実務家教員

修了要件は？

- 2年間の在学**
各大学院の判断・工夫により短期(1年)や長期(3年)の開設も可。
- 45単位以上を取得**
その内、10単位以上は学校における実習が義務化されている。(本学では1年間に150時間×2年間で合計300時間の実習が必要)

3 令和4年度より新大学院がスタート！ より多様な専門的な学びを実践する大学院に！

教職大学院においては教科等に関する領域及び発達支援に関する領域の教育研究機能を教職大学院に移行させ、多様な専門分野の教員が協働して教員を養成する体制を整えました。

修士課程においては、心の健康や豊かさに関する課題に特化して公認心理師や臨床心理士の資格取得を含む人材養成に向けた教育研究機能の強化を図ります。

専門職学位課程(教職大学院)

教育実践高度化専攻

学校教育実践研究コース
学校経営・学校心理領域 学級経営・授業経営領域 道徳・進路・生徒指導領域

教科教育・教科複合実践研究コース
人文・社会領域 ●国語分野 ●英語分野 ●社会分野
自然科学領域 ●数学分野 ●理科分野 ●情報分野
芸術創造領域 ●音楽分野 ●美術分野
生活・健康領域 ●保健体育分野 ●技術分野 ●家庭分野
教科横断・総合学習領域 ●教科横断・探究的学習分野 ●グローバル・総合分野

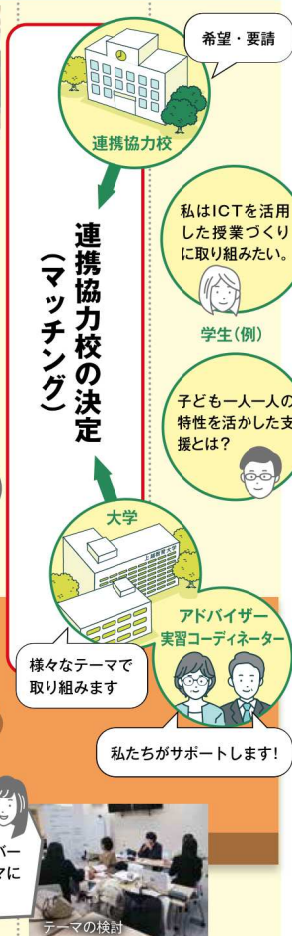
発達支援教育実践研究コース
特別支援教育領域 幼年教育領域 学校ヘルスケア領域

修士課程
教育支援高度化専攻
心理臨床研究コース 心理臨床領域

4 実際どんな毎日なの？ 学校支援プロジェクトの流れと 年間スケジュール



所属する領域・分野が設定する「学校支援プロジェクトテーマ」の中から自分の取組を選択



連携協力校の決定
(マッチング)

3月 2月 1月 12月 11月 10月 9月 8月 7月 6月 5月 4月

様々な授業実践の様子



先生方とディスカッション

ICTの活用について先生方へのフォローも行います!

実習の入り方は人それぞれ!

- ◇週2日を連携協力校での実習、大学に戻ってリフレクションと準備
- ◇週5日の実習、間に2週間程度のリフレクションの期間を置いて後半を行う などなど

年間150時間学校で実習を行うんだ。

学校支援フィールドワーク (学校実習)

連携協力校での実習 (6月～2月)

学年やストレート・現職の区別なく、テーマが一致する複数の学生がチームを組んで実習に入ります!

授業を観察…勉強になる! 何か問題はありますか?

一人じゃないので安心!

問題の発見や課題・実践の修正・改善

~私の1日~(一例)

8:15 朝:1日の活動の打合せ

8:45 授業実践や業務補助 (掲示物作成、印刷、行事の準備 など)

12:10 子どもたちと給食

15:30 放課後:児童への学習支援

1日の活動が終わると大学に戻り、e-box(デジタルポートフォリオ)に活動を記録!

同じチームの実習生やアドバイザーと情報共有!

研究的視点からの考察やまとめ

学校支援課題探究 プレゼンテーション (成果の還元)

- ◇学校支援プロジェクト実践研究(連携協力校に報告)
- ◇学校支援プロジェクトセミナー(成果発表会)

なるほど!



領域・分野ごとの全体リフレクション チーム・研究室ごとのリフレクション

学校支援課題探究 リフレクション (実践の省察)

もって工夫できないかな?

課題解決のため意見を出し合います!

実践の準備

大学で課題の省察・実践の準備等

私のチームでは週1回、アドバイザーとチームメンバー全員の記録をもとにテーマについて検討します。

テーマの検討



活動の成果は「学校支援プロジェクト実践研究」にまとめて連携協力校に報告するとともに、発表の場として連携協力校の先生方をお招きし、「学校支援プロジェクトセミナー」を開催しています。(令和2、3年度は学校毎にオンライン等で実施)

5 学校現場と密に連携した「学校実習」

学校実習を支える「学校実習コンソーシアム上越」

本学と上越市、柏崎市、糸魚川市、妙高市の教育委員会及び校長会が協働して学校実習コンソーシアム上越を構成し、4市にある小学校、中学校、特別支援学校及び教育委員会を連携協力校とできる体制を確立しています。



本学の教職大学院は、現職院生とストリート院生がチームで地域の学校の課題解決に参画する「学校支援プロジェクト」を中核とし、幅広い専門性に対応した課題解決型のカリキュラムとなつていきます。

学校現場を知り尽くした実務家教員、学校現場と専門性をつなぐ研究者教員がアドバイザーとして、学生一人一人が伸ばしたいと願っている「教師としての力量」を最大限に引き出し、伸ばすための体制を整えています。

学校支援プロジェクトでは、連携協力校からの要望を聞き、その達成のために現場の先生方と連携・協力します。実際の取組としては、院生によるICT研修会の実施、ICTを活用した授業の提案・サポート、院生による授業実践の授業を行いました。以上のように、「ただの実習生」という立場ではありません。そのため、リアルに学校現場の雰囲気を感じつつ、大学院で学んだことを活かして、学校のため、子ども達のために何かできるかを試行錯誤しながら、より良い学校や教育を目指していくという経験を積むことができます。



ストリート院生
佐藤 真大さん
大学院2年

大学院生の声



現職院生
山崎 誠さん
大学院2年

小学校算数教科を中心に学校支援プロジェクトの活動を行いました。大学院で学んだ理論的視点をもちに授業を意味づけられることで、実践を客観的にとらえることができるようになりました。また、長期間にわたる学校の先生方に寄り添うことで、教師の主体性を重視した校内研修の在り方について学ぶことができ、貴重な経験となりました。「理論と実践の往還」、そして「長期間の実習」この2つのごとによって多くの学びが得られ、教師として成長できる。それが学校支援プロジェクトです!



吹奏楽団

02 鑑賞会コーデ

Concert & Art

プロの方の演奏会にしばしば行き
ます! 楽器を演奏している身として、
やはりプロの方の演奏を聴くとテン
ションが上がります! プロの方の音
色や表現の幅は本当に憧れます!

推しの一言

- 熊林 なつみ
学部3年 教科内容構成コース(家庭)
- 目黒 美沙
学部3年 教科内容構成コース(国語)
- 山王 咲季
学部3年 教科内容構成コース(国語)



◀演奏会でいろいろな演奏者さんのきれいな音色を聞くと、とても心が癒されます♡そして、自分の演奏に活かすための勉強にもなります!

▼美術館に行くことがあります。「美術館って難しいな」と思うときもあります。そんなときは、身近なアート展から入ってみると、とても面白い作品にたくさん出会うことができます!



学生がつくる
上教大生のひろば

“あなたは何れ推し?”

～集まれ上教大のオシャレさん～

みなさんはどのような服装が好みですか? そして、行く場所や遊ぶ目的によってどのよう
に服を決めていますか? 今回は「上教大生のコーデ」をテーマに、ストリートダンス部、
吹奏楽団、男子アイスホッケー部にご協力いただきました。団体ごとにそれぞれ色が出て
いるかと思えます。ぜひ自分のコーデの参考にしてみてくださいね!!

Used clothes

ストリートダンス部

01 古着コーデ

古着巡りは新潟市中央区にある、ONE DAY STORE、タイム、re:late、THIS MANなどに行く
ことが多いです。学部1年生の頃は先輩がたくさん
連れて行ってくれ、2年生になった今ではカワイイ後
輩を連れていくこともあります! 古着巡りや行き帰
りのドライブがきっかけで部員の仲もすごく深まり
ます。店員さんとても優しく接してくれ、帰る時は
「また来ますね〜!」と言って、またカワイい後輩を
連れて行きます!(*^ω^*)



▲古着の魅力は1つ1つが一点物である
ということです! 80~90年代の物やア
メリカからの輸入物が多く、全く同じも
のはありません! だから他人と被るこ
とは無く、自分だけのファッションを楽し
むことができます! あと長く使えば使う
ほど味がてくるのも魅力のひとつです
かね♡

▲お店の前で店員さんとバシャ
リ。店員さんはほんとに優しくして
ノリが良くしておしゃれなんです。
コーデの組み合わせや、自分に似
合う服をたくさん選んでくれます。
店員さんおすすめのご飯屋さん
に行くことも!

◀後輩たちと古着旅! 一緒にご
飯を食べたり、移動中にはカクカ
ナ禁止ゲームで大爆笑したり! どの
古着旅も最高の思い出ばかり
です♡



▲古着巡りに乾杯! 好みの服も
買えて、美味しいものたくさん
食べられて満足!

Date outfit

男子アイスホッケー部

03 デートコーデ

セットアップで大人な印象を!

デートに行くなら、チェーン店よりも自
経営のお店に行きます! おすすめは、大
学近くのBirds INN Cafe (バースイン
カフェ) で食べられる、バースインオム
ライスです! 中には大きくてジューシーな
ハンバーグが入っています! 卵もフワトロ
ですごく美味しいです!

コーデのテーマは「ふわっと優しく♡」

全体の色味を統一させることで、落ち
着いた雰囲気が出ます。また、最近はやりの
キルティングコートを着て、最近のトレ
ンドも逃さないようにしています! デート
では笑顔を決定的にすることが大切だ
と思っています。ランチに連れていくな
ら一緒に寿司を食べに行きたいですね~

推しの一言

- 五十嵐 裕児
学部4年 教職デザインコース
- 菅野 直弥
学部4年 教職デザインコース



動きやすいラフなコーデ!

「デートだからバシッと決める」という
よりも、ゆっくり楽しめるデートがしたいの
で、動きやすいラフなコーデを心がけてい
ます! だから、彼女から「すぐに来て!」と
言われても、すぐにかかけつけられます! (い
つも僕がついている!) って感じですかね~
上越でデートするなら、うみがたりでサン
セットのイルカショーを見に行きます!

僕の大好きなブランドはkebozです!

写真のカーディガンはkebozのもの
を着用しています! 自分の好きなブランドの
服を着て出かける時はとてもワクワクしま
す! みなさんもぜひkebozの服を着てみ
てください! デートでご飯屋さんに行くな
ら、地中海料理ほまるえしに行きます!

- 細野 憲一
学部4年 教職デザインコース
- 丸山 開
学部4年 社会系コース

編集後記

比較的規模が小さい上越教育大学ではありますが、調べていくうち
に部活動などの活動団体によって服の趣向がなんとなく分かれて
いることがわかりました。そういったことが分かってから、学内での
生活にちょっとした面白みが増えたような気がします! 「服」とい
ういつもとは違う見方で過ごしてみるのも良いかもしれません!



お花見に行くのは青!
ブルーのコーデ!

- 田中 はな
学部2年
教科内容構成コース(英語)
- 飯田前
学部1年

推しの一言

- 田丸 末唯
学部2年 学校教育実践コース
- 上野 香衣
学部2年 学校教育実践コース
- 宮本 塔子
学部3年 学校教育実践コース

準硬式野球部

北信越大会優勝と今後の目標

準硬式野球部は春と秋にある北信越大会優勝を目標に掲げ練習に取り組んでいます。春は優勝すると全国大会に出場できる大きな大会で、秋は北信越選抜チームの選考会も兼ねている大事な大会です。私たちは春、秋の大会と優勝しているので、その勢いそのまま来年の春の北信越大会も優勝し、再び全国大会に出場できるよう部員一丸となって頑張っています。練習は週4日で平日は2時間～3時間、土日は午前中に練習しています。

学生主体の運営

大会、練習試合、練習の運営など基本的には部員がすべて行っていて、選手の起用なども話し合いながらやっています。監督というポジションの人がいないからこそその楽しさがあり、野球を楽しむという中にメリハリをつけて日々活動しています。

部員は現在プレイヤーが31名いますが、全員が高校まで野球をやっていた人ばかりでなく、大学まで野球未経験だった人や中学までしか野球をやっていた人など様々な人がいます。人数が多いため、練習試合以外

にも紅白戦などを多く行い全員が試合に出られるように工夫しています。どんな人でも野球を楽しむことができるのが私たち野球部の良さだと思います。

野球以外の交流も

また、コロナ禍以前は野球だけではなく、夏はバーベキュー、冬はスノボなどをして楽しんでいました。今は、以前のように大人数での活動は難しくなっていますが、少人数で先輩後輩関係なくご飯に行ったり、球技大会を行ったりなど、野球以外のところでも交流を深めています。

経験者の方もそうでない人も野球が好きな人でしたら大歓迎です。ぜひ一緒に野球をしましょう。



DATA 令和4年1月現在

部員数/
プレイヤー31人
マネージャー4人 計35人
活動日/毎週水・金・土・日曜日
活動場所/野球場、体育館
活動実績/
令和3年度春季北信越地区準硬式野球大会 優勝(全国大会出場)
令和3年度秋季北信越地区準硬式野球大会 優勝
【取材協力者】
学部3年
先端教科・領域学習コース(教科横断) 神井清正



アカペラサークルJADE

DATA 令和3年10月現在

部員数/
学部生72人、院生3人、看護大生4人 計79人
活動日/
週1回(全体会)、その他バンドごとに練習
活動場所/
音楽棟101教室(全体会)、大学内の教室(バンドごとの練習)
活動実績/
年数回のJADE主催ライブ、学外からの依頼による演奏等
【取材協力者】
学部3年
教科内容構成コース(技術) 山本悠哉

アカペラについて

アカペラは、声だけを用いて奏でられる音楽です。特別な道具や施設は使わないため、時間や場所を選ばず楽しむことができます。仲間と日々練習に励み、綺麗に揃った歌声でアカペラを披露した時には、言葉では言い表せない感動や達成感があります。

たくさんの仲間たち

基本的に私たちは「バンド」というものを組んで活動しています。バンドとは、同じアーティストの曲を歌いたい人同士が集まったり、仲の良いメンバーが集まったりして組まれたグループのことです。JADEという枠組みの中に多くのバンドが存在し、様々なジャンルの曲がアカペラで練習されています。

アカペラサークルJADEの現部員数は79人と大学内で最も多く、部員同士でのコミュニケーションも活発に行われています。仲間と共に曲と向き合い、完成度を高めていく中では強い絆が生まれ、かけがえのない友人が

たくさんできます。部員数が多いことや、心を合わせるというアカペラの性質も相まって、たくさんの人と仲良くなれることもアカペラサークルJADEの大きな魅力の1つです。

地域での依頼演奏も

学内でのイベントやJADE主催のライブのほかに、地域の小中学校、施設からの依頼を受けた時やイベントへ出演した際にもアカペラを披露しています。たくさんの人に向けてアカペラを披露する時は緊張しますが、演奏後にいただけるありがたい言葉や拍手は自信につながり、とても温かな気持ちになることができます。



94年の時を経て蘇った スタインウェイ社製ピアノ

附属学校 だより
上越教育大学
附属小学校

「音故知新プロジェクト」で復活したスタインウェイ社製ピアノ

当校の多目的ホールに眠っていたピアノ。調べてみると、このピアノは世界三大ピアノの一つとされるスタインウェイ社製であること、そして、それは高田師範学校時代から受け継がれてきた由緒あるピアノであることが分かりました。しかしながら、最近では使用されずに当校の多目的ホールの隅に置かれたままになっていました。

令和3年度、当校は開校40周年を迎えました。それを記念し、「古いものや歴史を大切にしながら新しい時代を切り拓いていってほしい」という願いを込め、この眠ったままになっていたピアノを復活させ、多くの方から名器の音色に親しんでもらおうと「音故知新プロジェクト」を立ち上げました。

そして、プロジェクトの趣旨にご賛同いただいた方、当校を応援してくださる方など、多くの方からのご支援をいただき、令和3年秋、94年の時を経て、スタインウェイピアノは見事に復活しました。



開校40周年記念式典でのピアノ復活コンサート

創立記念日である10月1日に行われた記念式典では、ピアノのお披露目も兼ねた復活コンサートが開かれました。

当校の小さなピアノニストたちが、蘇ったスタインウェイピアノを式典やホブラ音楽祭のステージで奏で、ピアノの復活を全校で祝いました。



「音故知新プロジェクト」で復活したスタインウェイピアノをより多くの方に親しんでもらおうと、多目的ホールに附属小ストリートピアノコーナーを設置しました。

ストリートピアノコーナーでは、休み時間などで子どもが自由に演奏できるようにしています。今後はミニコンサートを開催したり、広く市民の方にも開放したりすることを通し、多くの方に復活したスタインウェイピアノの音色を味わってもらおうと計画しています。

開校40周年を記念して復活したこのピアノは、これからも多くの人に愛されながら素敵な音色を奏で、附属小学校の新たな歴史をつくっていくことでしょう。

附属小
ストリートピアノ
コーナー設置



修了生からの
お便り



大学院同窓会



先端を学べた日々感謝



「技術の先生って大変じゃないですか？」

最近、3年生に声をかけられました。聞いてみると、GIGAスクール構想で一人一台のタブレットが与えられた一方で、Windows 機が無くなりプログラミングの教材が変更されたことや、ICTを中心に技術の発展が目まぐるしいことなどから、変わっていく授業の内容に対応するのが大変だと感じた、ということでした。

私は、そのように考えていた生徒の着眼点に感動と驚きを覚えました。そして自然と「大変だけど、先生たちも勉強してらんだよ」と応えていました。この勉強として、まず私が思い浮かべたのは、上越教育大学大学院での日々です。

私は平成23年から修士課程の生活・健康系コース（技術）でお世話になりました。川崎直哉先生の研究室に所属させていただき、計測・制御教材の研究に取り組みました。マイコン基盤や教材の開発、その教材を使った小学生対象の発明教室サポートを行ったり、工業大出身の免P生との自主ゼミでマイコン工作に取り組みたりする中で、機器を制御するプログラミングとそれを教材とした授業について、多くのことを学びました。また、同コースの大森康正先生の情報に関

する講義では、先端の知見やツールについて学ぶことができました。大学院を修了して10年ほどになりますが、その当時に学んだ内容が新しい中学校の教科書に掲載されていたり、一般的なツールとして主流になっていたりして、「これからくる新技術」について学べていたありがたさを実感しています。

先端の知見を得ることの価値と楽しさを知り、大学院修了後も機会をみて学会や講習会に参加するようにしてきました。そして、共に学んだ同じコースの仲間達とも継続して連絡を取り合っています。学びだけでなく、全国各地、小学校・大学まで広がるつながりは現在も私を支える力となっています。



関野 幹裕
(せきの みきひろ)

新潟県新潟市出身。新採用で柏崎市立第三中学校に勤務。その後、南魚沼市立大和中学校、新潟市立木戸中学校を経て平成23年に上越教育大学大学院に入学。大学院修了後は新潟市立木戸中学校、新潟市立内野中学校に勤務し、現在新潟市立白新中学校。新潟県中学校教育研究会事務局長。

同窓会長就任のご挨拶

この度、大学院同窓会長に選任していただいた、山本浩昭です。浅学非才ではありますが、一杯取り組んでいきますので皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いたします。

本稿作成中に、嬉しいニュースが飛び込んできました。エンゼルスの大谷翔平選手のMVP受賞です。令和3年は、オリンピック・パラリンピック東京大会という大イベントがありました。大谷選手の大活躍は、それを上回るほどの話題性がありました。ベースボール発祥の地の満員の受賞！すごいことです。

さて、大谷選手の偉業の中、ある教育実習生との会話を思い出しました。「人生で成功するには何が大切ですか。」唐突な質問にためらいましたが、「一つは、自分の専門性を磨き、高めること。そして、人とのよいつながりを作ること」と答えたことを覚えています。大谷選手は、天賦の才能を持ちながら、それに満足することなく努力を重ね、専門性を高めています。さらに、大谷選手は、プレーだけでなく、何気なく球場のゴミを拾う、いつも笑顔で誠実に人と対応する等の立ち居振る舞いで人々の心をつかましました。

さて、大谷選手に関わって「専門性を高めること、人とのつながりを作ること」について書きましたが、これは、まさに同窓会の意義そのものだと思います。上越教育大学大学院の同窓生は、8000名を超えています。その誰もが、より高い専門性を身につけるために本学を選び、研鑽を積みました。そして、同窓会支部は全国18を数えます。強力な人のネットワークです。

残念ながら、コロナ禍の中、直近2年間は、評議員会を開くことができず、学部同窓会と大学院同窓会の統合は、実現できていません。しかしながら、高橋前会長を始め、事務局長、理事の皆様のご努力で書面審議を行い、事業計画や予算の立案と執行を進めてきました。コロナ禍中であっても同窓会の意義や必要性は色あせることはありません。同窓会は、上越教育大学に在学する学生、教員すべての人の力を結集して支えていくべきものだと考えています。

上越教育大学大学院同窓会
会長 山本 浩昭



同窓会支部大会へ大学から講師派遣

サテライト講座合同開催はいかがですか？
ご希望の同窓会の支部は地域連携担当(chiiki@juen.ac.jp)にご連絡ください。

令和3年度に実施したサテライト講座の情報はQRコードから



同窓会長長野支部大会と合同開催したサテライト講座
(2021年12月19日)

ご寄附のお願い - 教員養成を通して皆様の思いを将来ある子どもたちに -

上越教育大学リサイクル募金

ご寄附の詳細などはこちら▼
kishapon.com/juen/



上越教育大学 リサイクル募金 検索

上越教育大学基金

ご寄附の詳細などはこちら▼
juen.ac.jp/300किन/



上越教育大学 基金 検索



退職教員から 皆さんへ



人文・社会教育学系
教授 浅倉 有子

プロフィール
1993年4月、助教授として着任。2009年4月、教授に就任。専門は、日本近世史、北方史、地域史、女性史等。

振り返ってみれば

私が本学に着任したのは、1993年4月、山形県立米沢女子短大から新天地への異動でした。爾来約30年、振り返ってみれば、あつという間のことでした。教育学というミニ総合大学の特性ゆえ、所属コース外の多分野の教職員・学生と関わる機会が多く、有り難いことでした。本学での最大の思い出は、国際シンポジウム開催経費を取得して、1997年9月に「東アジア地域における新しい歴史表象をめざして—歴史研究と歴史教育の対話—」を開催したことです。代表を務めた科研費・基盤研究(A)の成果公開を兼ねて、韓国・ロシア・中国から研究者をお招きし、かつ国内の幅広い研究者にご報告頂き、共に議論を深めました。今後ですが、酒・ワイン・魚・米が美味しいという上越の住み心地の良さに、城下町のはずれに中古の小さな町家を購入し、住み着くことになりました。比較的近くから、本学の益々のご発展を祈念しております。



臨床・健康教育学系
教授 上野 光博

プロフィール
2006年4月、教授として着任。専門は腎臓内科学、透析医学、内科学、学校保健、健康教育。

大変お世話になりました

平成18年から16年間、大変お世話になりました。前任の医学部から教育の専門大学である本学での教育・研究に従事し、当初戸惑いや驚きを感じましたが、個性あふれる学生とともに学校での健康教育について大変多くのことを学びました。また、保健管理センターでは学生の保健管理、特に麻疹や新型コロナウイルスの流行など感染症予防対策に苦慮しましたが、大過なく対応できたかと考えております。学校での教育は健康の上に成り立ちます。今後とも「学校ヘルスケア」に関する一層のご理解と研究発展を願っております。最後になりますが、これまでの学内の教職員の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、本学の教育の総合大学としての益々の発展を祈念しております。ありがとうございました。

J-style 通信

知の総合化と教職

学長 林 泰成



学部を卒業される皆さん、大学院を修了される皆さん、おめでとうございます。在学中の学習や研究を中心とした生活はいかがだったでしょうか。充実していた方も、それほどではなかった方も、アルバイトなど別の活動にいそんでいた方

も、今は、ご卒業・ご修了をともに慶びたいと思います。

ひとそれぞれが置かれている状況は違っても、同じときに同じ場所であるに学んだという体験は、貴重な体験であると思います。10年後、20年後にまたこの地に集まって旧交を温めていただければと願っています。

今、大学を含む高等教育機関は、大きな曲がり角に来ているのではないかと感じます。それは、AIやICTなどの進歩やさまざまな業種におけるデジタル変革(DX)によりSociety 5.0と名付けられたような未来社会が到来するということのようなことばかりではありませぬ。その背景として、知の総合化が始まっているように感じられるからです。

たとえば、学校教育の中でも、総合的な学習の時間や総合的な探究の時間など、教科を横断するような活動がカリキュラムに取り入れられています。最近、大学で設置が増えているデータサイエンスに関連する学部では、統計処理だけでなく、社会実装ということが強く意識されています。つまり、実際に社会で活用可能なものにする活動が求められるということです。そうした活動は、文系・理系というような区分をも超え出ます。

もちろん、知の総合化の前提には、個別の学問分野がより深化していくということがありますが、それを社会的な活動に反映させていくための、総合的・包括的な知の在りようが模索されているように感じられるのです。

アメリカのミネソタ大学のように、キャンパスを持たず、世界の各地での生活体験や職場体験をも含めて学習を深めていく大学も存在します。しかも、そうした、従来の大学観からすれば型破りな大学が、世界のトップレベルの大学と肩を並べて、受験生を集めているのです。大学も、すでに、学問的知識の切り売りではすまない状況に入りつつあるのです。

さて、卒業生・修了生の皆さんの多くは、学校教育に携わることになると思いますが、小中学校や高校も、同様の流れの中にあります。本学で身に付けた知識を常にブラッシュアップし続けて、総合的な知に磨きをかけ、能力開発を続けてください。教職は、今後、皆さんにとって、そうした努力に見合うだけのやりがいのある職業になっていくと思います。本学は、そうした皆さんを支援し続けるような仕組みを考えていきたいと思っております。

インタビュー 大学院で輝く人

大学院2年
現代教育課題研究コース
道徳・生徒指導領域
とよだ はやと
豊田 隼 さん

入学の動機と 大学院での学び

私は、学部時代に中高保健体育の教師を志す中で、教育問題についてより深く学び、教師としての引出しを増やしたいという気持ちが芽生え、上越教育大学教職大学院への進学を決意しました。ここには、理論と実践の両方を大切にされた教職大学院だからこそ得られる実践的な「知」、それを身に付けることができる学びの環境が整っていると感じます。ゼミでは、仲間と切磋琢磨し、日々建設的な議論を進める中で自分を磨くことができている。学校支援フィールドワークでは、現場の先生方と共に、日々の教育活動をキャリア教育の視点から見つめる取り組みを行っています。

転機

教職大学院、とりわけ所属研究室での学びの中で、心理学を中心に様々

な角度から教育を探究したいと考えるようになり、研究者の道を志すようになりました。私が進めている研究は、運動部活動の体罰に関する研究です。これまで、学部時代の恩師の先生や現在の指導教員に協力して頂きながら、共同研究を進めてきました。「なぜ」を存分に追求でき、新たな自分に出会うことができる環境がここにはあると感じています。修了後は、今進めている研究をさらに追求するために、他大学の博士課程に進学します。

終わりに

教職大学院での学びも残りわずか。次のステップを目の前に、「学校現場に役立つ研究に携わっていきたい」という想いが日増しに強くなる自分を感じています。最後に、“Bloom where God has planted you.”——これは私の座右の銘です。これまでの学びを糧として置かれた環境を楽しみ、学び続ける姿勢を崩すことのな

い研究者を目指して、私を精一杯支えてくれている両親に感謝しながら、今後も研究に勤しみ、大輪の花を咲かせたいと思います。



インタビューを終えて

謙虚さの中に燃えたる情熱を隠し持った豊田さんの姿からは、いつも多くの刺激をもらっています。自分の信念を大切に探究することを心から楽しむ、そんな想いに触れる意義深い機会となりました。

■ 聞き手・文(写真左より)

大学院1年
現代教育課題研究コース 道徳・生徒指導領域
斉藤 光平
笹山 雄大
(中央・本人)
中池 みのり



QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。

アンケートにご協力ください
公式ホームページにおいて本誌に関するアンケートを実施しています。左のQRコードを読み込むことで、携帯端末からのご回答いただけます。アンケートにお答えいただいた方には粗品をお送りいたします。(先着10名様)



Facebook
はじめました



Instagram
はじめました